

さつきやま魂

崎山中学校だより
8月9日 第8号
文責 校長 山下



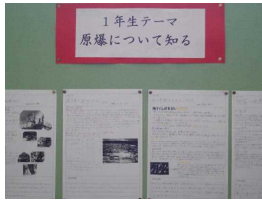
8月9日 平和について考える

八月九日は、長崎市に原爆が投下された日です。あの悲惨な原爆が長崎に落とされて、七十四回目の夏を迎えました。私たちは、人類史上初めて原爆を落とされた被爆県民として、この地球から一刻も早く核兵器がなくなることを、戦争のない平和な世界を築き守ることを願って、毎年平和集会を実施しています。

今年度は、「被爆二世の会長崎」に所属し、家族・交流証言の語り部として活動されている大越富子先生をお迎えし、被爆者から直接受け継いだ被爆体験講話をしていただきました。大越先生は、自分以外の御家族はすべて被爆されており、お兄さんである田中重光さんは、現在、「長崎原爆被災者協議会」の会長としても活動されています。今日は、子どもたちも貴重なお話を聞き、改めて平和の大切さを学ぶことができました。また、六月下旬から各学年でテーマを決めて、調査活動したり、平和学習実行委員による絵本の読み聞かせを行ったりして、平和について学習を深めてきました。

- 1年：原爆について知る。
- 2年：日本の戦争の歴史について知り、学んだことをまとめる。
- 3年：世界の平和問題について学び、自分たちの思いを発信する。

今日の平和集会やこれまでの平和学習を通して、それぞれが感じたことや考えたことを決して忘れないでほしいと思います。また、この平和学習は、さつきやま魂の友愛（ふるさと、人を愛する魂）に通じるものです。一人ひとりが身近なところからできることをぜひ実践してほしいと思います。それが、世界平和への第一歩になるはずですよ。



<1年生：原爆について>



<2年生：戦争の歴史>



<3年生：世界の平和>

県中総体・九州大会報告

七月二十七日と二十八日の両日、県中総体が行われました。

陸上は、一〇〇mに三年の川端さんと一年の原田さん、二〇〇mに川端さんが出場しましたが、残念ながら全て予選敗退でした。しかし、全国レベルを肌で感じ、多くのことを学ぶことができました。

剣道に出場した野瀬さんは、最後までよく粘りましたが、延長の末惜しくも一回戦で敗退しました。

柔道に出場した清水さんは、順調に勝ち上がり昨年度決勝で敗れた相手と戦いました。延長の末、僅差で敗れましたが、見事二位となり、九州大会出場を果たしました。敗れはしましたが、今までの最もよい試合内容であったようです。九州大会では、一回戦で優勝した鹿児島県の一位の選手とあたり惜しくも敗退しました。

どの選手も、五島市代表として、堂々と競技をすることができました。この経験を自分の力にすることはもちろんですが、後輩にぜひ伝えてほしいと思います。



駅伝練習頑張っています！

休養日である毎週日曜と木曜を除き、厳しい暑さの中、練習を頑張っています。時間があるときには、練習を見に来てください。

【駅伝大会の思い出】

私が中2のときに、岐宿、川原、山内の三校が統合して、現在の岐宿中学校が開校した。統合後、体育祭での学級対抗種目をはじめ、いろいろな活動で学級対抗の競技が増え、他の学級へのライバル意識が芽生えた。中3の時、「学級対抗駅伝大会」なるものが新設された。一周、約2kmの岐宿中学校を周回するコースであった。3年生として、他学年はもちろん、他学級にも負けるわけにはいかない。我々3年A組は、大会の1か月ほど前から毎日のように練習した。自分一人だけの練習では、間違いなく途中で脱落していたと思う。ところが、絶対に他の学級に負けたくないというライバル心と、襷の重みによりきつい練習に耐えることができた。大会当日、私自身はあまりよい走りではなかったが、アンカーがライバル学級を抜きトップでゴールした。本当に嬉しかった。たかが「校内駅伝大会」だったかもしれない。しかし、我々3年A組が一つになった瞬間だった。駅伝はすばらしい。